

## マルチメディア教材『きらきらオノマトペ<sup>1</sup>』の開発とWEB公開について

<http://nihongo.hum.tmu.ac.jp/mic-J/KIRAKIRA-material/>

西郡仁朗（首都大学東京）

王莹（中国・天津科技大学）

### 1. はじめに

日本語のオノマトペ<sup>2</sup>は、日本人の様々な生活の場において頻繁に使われている。日本語はオノマトペに富んだ言語であり、日本語学習者が日本語を正しく理解するための不可欠な要素であると言われている（泉，1976；玉村，1989）。しかし、玉村（1989）によれば、オノマトペはほとんどの日本語学習者にとって習得困難な事項の一つとしても挙げられている。

本稿筆者の一人（王）は日本語学習者であり、数年間日本語を学んで来たが、日本語の小説や新聞、マンガ、ドラマを見たり、日本人の会話などを聞いたりする際、未だ語彙知識の不足ゆえにその場で電子辞書に当たることがある。特に日本人の生活に密接な関連があるオノマトペについての知識が乏しいことを痛感することが多かった。

一般に、語彙に含まれている音韻と意味とは直接的な関係がなく、恣意的であると言われているが、日本語の擬音語・擬態語においては、音と意味とは「ある程度合理的な結び付きがある。」（金田一，1978）とされている。

(1) ドアをトントンと叩く。

(2) ドアをドンドンと叩く。

(1) と (2) を比べると、多くの日本人が濁音の「ドンドン」は清音の「トントン」より、ドアを叩く音の大きいこと、力の強いことをイメージできるのではないだろうか（上記、金田一の指摘）。このように、音が象徴的な意味を表すことを「音象徴 (sound symbolism)」と呼ぶ。音象徴はものの音や様子などを表す語であるオノマトペにおいて顕著に見られるとされる（Hamano, 1998）。

日本語母語話者が一つ一つの音韻や、オノマトペに対してどのような音象徴を感じており、オノマトペがどのような言語学的特徴をもつかについては、Hamano (1998) の

---

<sup>1</sup> 本教材の開発と公開については平成 21 年度～平成 30 年度『東京都アジア人材育成基金 首都大学東京 企画政策費 遠隔教育』（代表者：西郡 仁朗）の助成を得ている。

<sup>2</sup> 本稿では擬音語と擬態語の総称としてこの語を用いる。

詳細な分析がある。同分析は、必ずしも母語話者を対象にしたデータに基づくものではなく、直感と例文による内容であるが、その大部分は母語話者にとって首肯できるものだと思う。

日本語母語話者にとってオノマトペの背景にある音象徴性は、ともすれば言語を越えた普遍的なものではないかと考えがちである。外国人と日本語でコミュニケーションをとる時に、「この辺は、車がビュンビュン走っているから、のろのろ歩いていると危ないからね。」「ぼうっとしないで、てきぱきやって！」などとオノマトペを多用することはないだろうか。母語話者が感じる音象徴性ゆえにことばと対象との関係に類縁性を感じ、外国人にも直観的に理解できるはずだと潜在的に思い込んでしまっていることがあるように思われる。

例えば、「やさしい日本語<sup>3</sup>」にもオノマトペ使用に関する注意喚起がある。「やさしい日本語」は、地震等の災害時に、中上級の日本語も、英語もできない外国人が、必要な情報を得ることができ、適切な行動がとれるように普通の日本語よりも簡単に、外国人にもわかりやすい日本語のことであるが、その中の『「やさしい日本語」にするための12の規則』の中で、「(6)擬音語・擬態語は使わないでください。」と明確に記されている。理由として「日本語で使用される擬態語(めちやめちや、どきどきなど)や擬音語(ドンドン、ガシャンなど)は、日本語話者以外には伝わりにくい表現です。使用を避けてください。」とされている。この説明などは、母語話者が感じる音象徴性が、外国人にも直観的に理解できるはずだという日本人の思い込みに対する注意喚起であろう。

言語を越えた音象徴性に関しては王(2011, 2013)の詳しい分析があり、日本語・中国語(北京語)・韓国語・インドネシア語(スダダ方言)の母語話者が、日本語のオノマトペを音韻として「聞き」「読む」時に、どのような音象徴性を感じるかを、感覚評価をもとに調査している。その結果、各言語個別にさまざまな音象徴が存在することが指摘されているが、4言語共通の音象徴は、「有声子音」と「無声子音」の対立のあるオノマトペについて、各言語話者が共通して「強さ」「重さ」の次元の音象徴性を抱いている程度であった。つまり、4言語を越えた普遍性は非常に限られていることを示す結果となっている。

---

<sup>3</sup> 弘前大学社会言語学研究室。http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/EJ1a.htm (2014年8月29日アクセス)

<sup>4</sup> 中国人被験者の場合、視覚提示についてはこのような結果になっているが、音声提示された場合、語頭か語中・語尾かによって、有声・無声子音か有気・無気音かの知覚カテゴリーが異なってくるため、単純化できない部分もある。

しかし、先述の通り日本語の中にはオノマトペが数多く見られる。高度の日本語の習得を目指す者にとって、是非とも克服したい課題であり、日本語教育者としても習得に資する教材をどのように整理作成して行くかが課題となっている。

これまで本稿筆者の一人（西郡）も、大学院生とのプロジェクトワーク（日本語母語話者・外国人学習者両方が含まれる）で、オノマトペを直観的に理解できるよう配慮した短い映像を検討・制作し公開してきた（『擬態語<sup>5</sup>』）。また、外部サイトでも、国立国語研究所『日本語を楽しもう！』などで、擬音語・擬態語の用例や音声などが公開されている<sup>6</sup>。

## 2. 制作上の配慮点

上に述べたように日本語学習者にとって、日本人の感覚で音や動作などを表現するオノマトペの理解や習得は大変難しい。実際の日本語教育現場でオノマトペを指導する際、辞書やテキストなどの文字による説明のみでは、学習者が微妙なニュアンスまでの習得に至らないことや、日常会話に繋がりにくいことが多い。

そこで、日本語学習者がオノマトペをより習得しやすくするため、日常生活においてオノマトペの使用場面をビデオの内容とし、視覚的な情報を中心とした教材を開発することとした。本教材の開発に当たっては、以下のことに配慮した。

### 2-1. 対象とするオノマトペの選択

日本語の中のオノマトペは非常に数多い。辞書などでの収録語数も多いが、類書の中では『擬音語・擬態語 4500 日本語オノマトペ辞典』（稿末参照）のように4500語も収録されているものもある。

今回の制作では、対象者として初中級の日本語学習者を想定し、映像表現（ビデオ・スキット）によって、オノマトペが実際に使われる場面を取りあげることにした。そのため、オノマトペの語数には一定の制限を設けるとともに、初中級の日本語学習者が学ぶのにふさわしい一般的なものとした。また、ビデオ・スキットの場面も、学習者になじみ深いもの、スクリプトやオノマトペの意味説明も、初中級学習者に理解しやすいものであることを配慮することとした。

初中級学習者に対し、どのオノマトペをどのように導入して行くべきかについて、検討したが、先行研究では三上（2007）の提案が最も教育的な妥当性があると思われる

<sup>5</sup> <http://nihongo.hum.tmu.ac.jp/mic-j/gitaigo/index.html>（2001年公開を開始し、何度か項目を追加）

<sup>6</sup> <http://www.ninjal.ac.jp/archives/Onomatope/index.html>（2014年8月29日アクセス）

た。三上（2007）は、初中級で導入すべきオノマトペの条件として、①意味や用法の習得が比較的容易であるか、②母語話者の言語生活における使用頻度が高く、学習者が、各種印刷媒体、メディア等において遭遇する可能性が高いか、③基本的な動詞・形容詞・名詞と共起し、比較的やさしい文型・文脈において用いることができるか、④学習者がそのオノマトペを習得して実際に使う機会が多くあるか、などの観点から考察している。そして、新聞や雑誌、シナリオ集、漫画などの一般言語資料における使用状況も参考にしながら語の取捨選択を行った結果、70語を「基本オノマトペ」の試案として提示した。

本研究開発において、三上（2007）の選択した70語を重視し、そのすべてを取りあげることとした。また、また、ビデオの SCRIPT を設計する際に、会話の中に自然に登場させることができる2語も加え、72語を選択した。以下に、本教材で扱っているオノマトペ72語を示す。

<本教材で紹介するオノマトペ：72語>

あっさり	いらいら	うっかり	うろうろ	うんざり	がたがた
がっかり	がやがや	からから	がんがん	きちんと	ぎっしり
きらきら	ぎりぎり	ぐっすり	ぐっと	くるくる	ぐるぐる
げらげら	こっそり	ごろごろ	ざあざあ	さっさと	さっと
ざっと	さっぱり	さらさら	しっかり	じっくり	じっと
じろじろ	すたすた	すっかり	すっきり	すっと	すらすら
ずらり	そっくり	そっと	そろそろ	ぞろぞろ	たっぷり
ちゃんと	どきどき	どっと	どんどん	にこにこ	のろのろ
のんびり	ばたばた	はっきり	ぼったり	はっと	ぱっと
はらはら	ばらばら	ぴかぴか	びっくり	びったり	ふと
ふらふら	ぶらぶら	ぶるぶる	ぺこぺこ	ぺらぺら	ぼうっと
ぼさぼさ	ほっと	ぼんやり	ゆっくり	わくわく	めちゃくちゃ

## 2-2. 用法と意味の説明 ～多言語による説明リスト～

本教材では、ビデオ・スキットによる映像表現だけではなく、各オノマトペの用法と意味とを多言語で説明する素材も作成することとした。その際、初中級学習者を対象とするためには、用法と意味説明について制限を設ける必要があった。具体的には以下の7冊の辞書すべてにあたり、72語について用法と意味の確認を行った。

(稿末の<参考とした辞書>も参照されたい。)

- ①「角川大國語辞典」(第二版)
- ②「擬音語・擬態語辞典」
- ③「広辞苑」(第六版)
- ④「新明解国語辞典」(第四版)
- ⑤「大辞林」(第三版)
- ⑥「日本語オノマトベ辞典」
- ⑦「日本国語大辞典」(第二版)

上記での記述は、大まかには同じであるが意味項目の分類や説明などの細部に関しては、辞書それぞれの編纂方針や個性がありまちまちである。一語一語各辞書にあたり記述内容をリスト化した。その上で、用法の中で現代語とは感じられないものを除外し、意味項目をまとめるべきものについては統合することとした。また、意味の記述に関しても、難解すぎるものはさけ、できるだけ分かりやすく示すこととした。当初は、旧『日本語能力試験』の2級語彙以内で記述することを目指し、大部分はこれに沿ったものになっているが、2級だけでは説明概念が不足していることから、2級を越える表現も含まれている(後述の通り、多言語翻訳による解説もあるので、学習者はそれを参照することもできる)。

用例や意味項目の確定と、その説明については、著者2名、プロジェクトに参加している大学院生スタッフ等の共同作業となったが、同時に、日本語学の専門家による校閲協力を得た<sup>7</sup>。

また、初中級学習者を対象としているので、初級者向けに、多言語による記述も行うこととした。日本語による用法と意味の説明の内容確定後、各言語を母語とし、日本語学または日本語教育学に精通した者が、英語・中国語・韓国朝鮮語・インドネシア語への翻訳を行った。これらについては「4. 多言語スクリプトと多言語による説明の例」と稿末の〈著作権及び開発スタッフ〉の項を参照されたい。

## 2-2. ビデオ・スキットのスクリプト制作と多言語訳

ビデオ・スキットのスクリプト制作に関しては、学習者が国内外の外国人学生であることを想定し、同年代の大学生(主人公は女子学生で兄も大学生)一日の生活を追った7つの会話場面で構成されている。

スクリプトの制作については、各スキットを大学院生スタッフの主担当が原案を作り、その中に、上記で定めたオノマトペが自然に含まれるように配慮した。また、語彙レベルを旧・日本語能力試験2級レベルに設定し、スクリプトの原案を策定して、教員と大学院生との間での議論や調整を経てまとめていった。

<sup>7</sup> 本学人文科学研究科日本語教育学教室教員、浅川哲也氏の協力を得た。記して感謝する。

また、初級の学習者の便宜を図るため、スクリプトの多言語翻訳を行った。次章のスクリプト例と稿末のスタッフの項を参照されたい。

以上のような準備のもとで、ビデオの撮影を行ったが、映像としての完成度を高めるため、専門のビデオ会社に実際の制作を委託し、また、出演者には芸能プロダクションを通じて、若手の俳優を募集しオーディションの上で配役を決定した。なお、エキストラ等の出演者は、本教材の制作スタッフや学内外関係者が当たっている。

撮影は首都大学東京南大沢キャンパスと、都内のハウススタジオで行われた。

ビデオの制作は、2010年11月に行われたが、その後、教室授業や遠隔授業での試用を行い、同時に上記の多言語による説明リストとスクリプトの多言語訳とその校閲を行った。ビデオの試用版は2011年1月から、マルチメディア自学自習システム版については2012年4月から用いられてきたが、後者については改良に困難な面もあり、WEBサイト上素材を公開し外部での自由な使用を可能とすることとした(2014年8月)。サイトのトップページについては図-1を参照されたい。

Department of Japanese Language Education, Tokyo Metropolitan University

きらきらオノマトペ  
"KIRAKIRA" Onomatopoeia  
首都大学東京 TMU mic-J

きらきら  
オノマトペ

(c) mic-J  
All Rights Reserved

Sample on YouTube

オノマトペとは  
What's Onomatopoeia?

VIDEOS

Multilingual SCRIPTS

Onomatopoeia Multilingual LISTS

STAFF

このページの素材は首都大学東京の日本語教育で用いてきたものです。しかし、教育目的であればどなたでもご自由にお使いいただけます。ただし、どこで使用しているか、どんな目的で使用しているか、素材の問題点などを管理人にお伝えいただければ幸いです。商用目的の使用はご遠慮ください。(2014年8月18日) 西郡仁朗

All materials on this page has been used for TMU Japanese language education. But they are also open to everyone. You can freely use the materials without any fee as long as they are used for non-profit educational purposes. When you use them, we ask you to mail us where and how you use the materials. (August 18, 2014). NISHIGORI, Jiro

オノマトペとは? 日本語 English Chinese Korean Indonesian

オノマトペとは、フランス語のonomatopéeに由来する外来語です。日本語には擬音語・擬態語という言葉がありますが、この教材では、「オノマトペ」を擬音語・擬態語の総称として使っています。

日本語では「雨がザーザー降っている。」「星がきらきらと光っている。」などのように、オノマトペがよく使われています。外国語にもオノマトペがありますが、日本語ほど数も種類も豊富ではないようです。日本語はオノマトペに富んだ言語であるとよく言われています。

オノマトペのうち「擬音語」は、自然に発生する物音や人間を含む生物が発する声などを、言語音で表した言葉を指します。具体的には、無生物の音を表すもの(「ザーザー」「トントン」など)、生物の音を表すもの(「ワンワン」「ニャーニャー」など)の二種類に分けられます。

「擬態語」は、全く物音を発しないもの、人間を含む生物・物事の動作・状態・様子などを言語音で表した言葉を指します。具体的には、無生物の状態を表すもの(「きらきら」「つるつる」など)、生物の状態を表すもの(「ふらふら」「のろのろ」など)、人間の心の状態を表すもの(「いらいら」「わくわく」など)の三種類に分けられます。

図-1 公開サイト『きらきらオノマトペ』トップページの一部

(<http://japanese.hum.tmu.ac.jp/mic-J/KIRAKIRA-material/>)

### 3. スキットの構成

上記過程を経て制作されたビデオの7つの場面ごとの概要を図-2に記す。

<p><b>1. 朝 編</b></p> <p>主人公の女子学生が朝起きてから、身仕度を整え、出かけるまでの様子。母親との会話および朝帰宅した兄（大学生）との会話。</p>	
<p><b>2. 学校に行く途中 編</b></p> <p>大学の最寄り駅からキャンパスの中で教室へ向かうまでの会話。主人公とクラスメートの女子学生との会話で、クラスメートが前日財布をなくしたことや、定期試験の準備などについての会話。</p>	
<p><b>3. 授業 編</b></p> <p>大学の授業での様子。主人公とクラスメートの女子学生との授業前の会話や教師とのやりとり。授業後の別の女子学生同士の会話。</p>	
<p><b>4. 食堂・教室 編</b></p> <p>大学の午前中の授業の終了から食堂でのメニューの選択の時の会話（主人公とクラスメートの女子学生）、先輩の男子学生との会話。主人公の兄とクラスメートの男子学生との休み時間の教室での会話。</p>	
<p><b>5. サークル 編</b></p> <p>主人公がメンバーとなっている演劇部での練習の様子。部員同士の会話や、演劇の練習の中での動作による表現、部長である先輩男子学生の指導の様子。</p>	
<p><b>6. アルバイト 編</b></p> <p>アルバイト先（スーパーマーケット）の休み時間の休憩室での会話。主人公と同僚の留学生との会話など。</p>	
<p><b>7. 夜 編</b></p> <p>主人公が帰宅して夕食をとり、就寝するまでの母親との会話。</p>	

図-2 『きらきらオノマトペ』ビデオの7つの場面の概要

#### 4. 多言語スクリプトと多言語による説明の例

先述の通り、本教材のスクリプトは旧・日本語能力試験 2 級の範囲内での記述が原則であるが、2 級を越える語彙や自然な会話表現も用いられている。この点など、初級学習者などへの便宜を図るため日本語以外にも、4 言語（英語・中国語・韓国朝鮮語・インドネシア語）の翻訳版も用意されている。

また、オノマトペをリストとし、その内容を日本語で説明したのも同様に比較的容易な表現と語彙を用いているが、同時に、4 言語（英語・中国語・韓国朝鮮語・インドネシア語）の翻訳版も用意した。

「2. 学校へ行く途中 編」を例にスクリプト（全体）と説明の例（冒頭の 5 つのオノマトペ）を示す。

##### 4-1. 多言語スクリプト（「2. 学校に行く途中 編」より）

日本語版では紹介するオノマトペは下線を施してある。

##### <日本語版> 2. 学校に行く途中 編

（朝の出勤風景。駅近辺。人々がぞろぞろ歩いている。）

（鈴木が元気なさそうにのろのろと歩いている。他に学生数名はすたすた歩いている。田中が  
あわててバタバタ走ってくる。）

（鈴木に追いついた田中が肩を叩く。）

田中：恵美ちゃん。おはよう！

鈴木：あ、びっくりした！おはよう！なんか後ろからバタバタと音が近づいてくると思った  
たら、花ちゃんか。（鈴木元気のない表情）

田中：えー？今日どうしたの？元気ないね！

鈴木：昨日寝てないから、もうふらふらだよ。

田中：どうしたの？

鈴木：昨日うっかりして、財布をカラオケに忘れちゃったんだ…

田中：えー！大変！電話したの？

鈴木：電話したんだけど、なかったんだ…

田中：いくら入ってたの？

鈴木：お金はそんなに入ってたんだけど、クレジットカードと学生証が入ってて…

田中：クレジットカードはとめた？



鈴木：うん。それで、昨日あんまり眠れなかったの。今頭がなんとなくぼうっとしてて。

田中：あ、ほんとう。起きた事はもうしょうがないよ、元気出して。いつものように、ぱっ  
と明るく。

鈴木：うん、ありがとう。

田中：ねー、もうすぐ期末試験だけど、ちゃんと勉強してる？

鈴木：ううん、全然勉強してないよ、考えるだけでうんざり。

田中：私も！でもそろそろ勉強しないとね。

鈴木：そうだね。もっとしっかりと勉強しなきゃ。

## <英語版> 2. ON THE WAY TO SCHOOL

(A morning pre-work scene. People are walking in and out of the train station in droves.)

(Suzuki is walking slowly, dragging herself around as though depressed. Other students are walking at a brisk pace. Making a bit of noise, Tanaka runs and catches up with Suzuki.)

(Having caught up with Suzuki, Tanaka taps her on the shoulder.)

Tanaka: Emi-chan! Good morning!

Suzuki: Ahh, you surprised me! Morning. I thought I heard someone rushing up behind me – it was you, huh.

(Suzuki's depressed expression)

Tanaka: Huh? What's wrong with you today? You look a bit down!

Suzuki: I barely slept last night, and I'm just completely drained.

Tanaka: What happened?

Suzuki: I was careless yesterday and left my wallet behind at karaoke...

Tanaka: What? That's terrible! Did you call them?

Suzuki: I called them, but it wasn't there...

Tanaka: How much did you have in it?

Suzuki: There wasn't that much money in it, but it had my credit card and my student ID in it...

Tanaka: Did you freeze the credit card?

Suzuki: Yeah. Anyway, that's why I couldn't sleep much last night – now it just feels like I'm in a daze.

Tanaka: Ah, that'd be right. Well, there's nothing you can do about it now, so – cheer up about it! Just keep your spirits high, like you always do.

Suzuki: Yeah, thanks.

Tanaka: Hey, finals are coming up – have you been studying properly?

Suzuki: Nuh-uh, not at all – just thinking about it bores me to tears.

Tanaka: Me too! But we'd better get to it soon.

Suzuki: Yeah... we've gotta study a bit more seriously.

## < 中国語版 > 2. 上学路上 篇

(早上的上班情景。车站附近，人们熙熙攘攘地走着。)

(铃木无精打采地踱着步子。其他学生大步流星地快步走着。这时，田中从后面啪哒啪哒地跑上来，赶上铃木。)

(田中赶上铃木，用手一拍她的肩。)

田中：惠美，早上好！

铃木：哎呀，吓我一跳。早上好！刚听到身后传来啪哒啪哒的脚步声，还以为是谁呢？原来是你啊！（铃木的表情无精打采的）

田中：唉？今天怎么了？无精打采的呢！

铃木：昨晚没怎么睡觉，现在感觉晕忽忽的！

田中：啊？怎么了？

铃木：昨天马马虎虎的，把钱包忘在卡拉 OK 了。

田中：啊？！是吗？打电话去问了吗？

铃木：打了，可人家说没有。

田中：里面有多少钱？

铃木：钱倒是不多，可是信用卡和学生证都在里面。

田中：信用卡挂失了吗？

铃木：嗯。所以，昨晚几乎没怎么睡觉。现在感觉头很沉。

田中：哦，原来如此。但是不管怎么说，发生的事已经无法挽回了，打起精神，像往常一样活力四射吧！

铃木：嗯，谢谢。

田中：哎，马上就要期末考试了，你好好复习了吗？

铃木：没有啊，一眼都没看，光想就够烦的了。

田中：我也是！可是也得马上开始学了啊！

铃木：是啊！必须得加倍努力学习了。

## < 韩国朝鮮語版 > 2. 학교에 가는 도중 편

(아침의 출근 풍경. 역 부근에서 사람들이 우르르 걷고 있다.)

(스즈키가 힘 없이 터벅터벅 걷고 있다. 다른 학생은 부리나케 걷고 있다. 다나카가 할레벌떡 달려 와 스즈키를 따라 잡는다.)

(스즈키를 따라 잡은 다나카가 어깨를 두드린다.)

다나카: 에미. 안녕!

스즈키: 아, 깜짝이야! 안녕. 어쩐지 뒤에서 히둥지둥하는 소리가 들린다 했더니 하나였구나.

(스즈키 힘 없는 표정)

다나카: 응? 오늘 왜그래? 기운이 없네!

스즈키: 어제 잠을 못 자서, 벌써 머리가 멍해.

다나카: 무슨 일이야?

스즈키: 어제 깜빡하고 지갑을 가라오케에서 잃어버렸어 ...

다나카: 정말? 큰 일이네! 전화했어?

스즈키: 전화해봤는데 없었어 ...

다나카: 얼마 들어 있었는데?

스즈키: 돈은 그렇게 많이 들어 있지 않았지만, 신용카드하고 학생증이 들어있어서 ...

다나카: 신용카드는 정지 시켰어?

스즈키: 응. 그래서 어제 별로 못 잤어. 지금 머리가 어딘지 모르게 멍해 있어.

다나카: 그랬구나... 일어난 일은 이제 어쩔 수 없잖아, 힘내! 보통때처럼 활 밝게.

스즈키: 응, 고마워.

다나카: 근데 곧 기말 시험이잖아. 제대로 공부하고 있어?

스즈키: 아니, 전혀 공부 안 하고 있어. 생각하는 것만으로도 지긋지긋해.

다나카: 나도! 하지만 슬슬 공부해야 될거같아.

스즈키: 맞아. 더 열심히 공부해야지.

## <인도네시아어판> 2. Di tengah jalan menuju sekolah

(Suasana pergi ke kantor di pagi hari. Di sekitar stasiun manusia jalan berduyun-duyun.)

(Suzuki berjalan dengan lamban seperti tidak sehat. Siswa yang lain berjalan dengan cepat. Tanaka lari tergesa-gesa menyusul Suzuki.)

(Tanaka yang menyusul menepuk pundak Suzuki)

Tanaka: Emi. Selamat pagi!

Suzuki: Oh, kaget! Selamat pagi! Saya merasa ada suara tergesa-gesa mendekat dari belakang. Eh ternyata Hana.

(Suzuki dengan ekspresi wajah yang tidak sehat)

Tanaka: Hah? Hari ini kamu kenapa? Ga sehat ya!

Suzuki: Karena tidak tidur dari kemarin, kepala terasa pusing.

Tanaka: Kenapa?

Suzuki: Kemarin karena aku lalai, dompetku ketinggalan di tempat karaoke.

Tanaka: Wah! Itu tidak baik ya! Apa kamu sudah telepon?

Suzuki: Sudah saya telepon, tapi ga ada.

Tanaka: Isinya kira-kira berapa?

Suzuki: Kalo uang sih tidak begituh banyak, tetapi ada credit card dan Kartu Mahasiswa...

Tanaka: Apakah credit cardnya sudah diblokir?

Suzuki: Ya sudah. Karena itu, kemarin saya kurang tidur. Sekarang kepalaku seperti bengong.

Tanaka: Wah bener. Yang sudah terjadi ya apaboleh buat ya. Semangat-semangat. Seperti biasa ceriadong!

Suzuki: Ya, terima kasih.

Tanaka: Hey-hey, Sebentar lagi ujian akhir semester, apa kamu belajar dengan baik?

Suzuki: Engga, aku sama sekali engga belajar lho. Berpikir saja sudah jenuh.

Tanaka: Aku juga! Tapi kalo ga segera belajar...

Suzuki: Betul ya. Kita harus belajar dengan sungguh-sungguh ya.

#### 4-2. 多言語によるオノマトペの説明の例

「2. 学校に行く途中 編」より、冒頭5つのオノマトペの多言語による説明を示す。

##### 【ぞろぞろ】

<日本語版>

1. 多くの人やものが次々と無秩序に移動する様子。「駅からぞろぞろと人が出てきた。」
2. 小さな虫などがはい回る様子。「パンのまわりにはアリがぞろぞろと這い回っていた。」

<英語版>

1. For a lot of people or things to move one after the other in a disorderly fashion.  
“People *just piled out* of the train station.”
2. For small insects/worms to crawl about. “Ants *crawled* around the bread.”

<中国語版>

1. 形容很多人或东西陆陆续续地，无秩序地移动的样子。  
「熙熙攘攘的人群络绎不绝地从车站里拥出来。」
2. 形容大量小虫子等爬来爬去的样子。

「密密麻麻的蚂蚁围着一片面包爬来爬去。」

<韓国朝鮮語版>

1. 많은 사람이나 물건이 차례차례로 무질서하게 이동하는 모습.

「역에서 사람들이 우르르 나왔다.」

2. 작은 벌레등이 기어 돌아다니는 모습.

「빵의 주위에는 개미가 줄줄 기어 다니고 있었다.」

<인도네시아語版>

1. Banyak manusia atau barang bergerak/berpindah tempat secara pelan-pelan terus-menerus.

“Dari stasiun banyak orang bermunculan.”

2. Keadaan serangga kecil merangkak-rangkak.

“Di sekeliling roti, banyak semut mengerumuninya.”

## 【のろのろ】

<日本語版>

動作や動きが鈍く遅い様子。

「人が大勢いるところでのろのろ歩くと、後ろから来る人に迷惑がかかる。」

「こんなのろのろとした仕事ぶりでは、いつ終わるか分からない。」

<英語版>

For an action or movement to be slow and sluggish:

“If you walk *slowly* in a crowded place, you’ll inconvenience the people behind you.”

“Working this *slowly*, there is no way of knowing when we are going to finish.”

<中国語版>

形容动作或行动迟钝缓慢的样子。

「在人多的地方慢吞吞地走，会给后面的人带来麻烦。」

「这么磨磨蹭蹭的工作状态，不知道要到什么时候才能做完。」

<韓国朝鮮語版>

동작이나 움직임이 둔하고 느린 모습.

「사람이 많은 곳에서 느릿느릿 걸으면 뒷사람에게 피해가 된다.」

「이렇게 꾸물꾸물 일해서는 언제 끝날지 모른다.」

<인도네시아語版>

Kondisi gerakan atau aktifitas yang lambat.

“Jika berjalan lambat di tempat yang banyak orang, akan mengganggu orang yang datang dari belakang.”

“Jika bekerja lambat seperti ini, saya tidak tahu kapan akan selesainya.”

### 【すたすた】

<日本語版>

軽快に歩く様子。「学生がすたすた歩いている。」

<英語版>

To be walking lightly and briskly: “The students are walking at a *brisk* pace.”

<中国語版>

形容走路轻快的样子。「学生们迈着轻快的步伐。」

<韓国朝鮮語版>

경쾌하게 걷는 모습.

「학생이 부리나케 걷고 있다.」

<インドネシア語版>

Berjalan dengan cepat.

“Agar tidak terlambat masuk kuliah, mahasiswa berjalan dengan cepat.”

### 【バタバタ】

<日本語版>

1. 手・足・羽などを、何度も音を立ててはやく動かす様子や音。

「からすが羽をばたばたとさせている。」「友だちがばたばたと廊下を走って近づいてきた。」

2. 物が強い風に激しくあおられる様子や音。「強風でテントがばたばたと音を立てている。」

3. 物が続けて落ちたり倒れたりする様子。「地震で、書棚から本がばたばたと落ちてきた。」

4. あわただしく物事を行って落ち着かない様子。

「急な来客だったので、お茶や食事の準備でばたばたとしてしまった。」

<英語版>

1. To move hands, feet, or wings and such fast enough to make a repetitive sound; also, the sound of doing so: “The crow is *flapping* its wings.” “My friend ran *noisily* down the corridor towards me.”

2. For something to flap about due to heavy wind; also, that sound.

“The tent made a *flapping* noise in the wind.”

3. For things to fall and/or collapse one after another.

“During the earthquake, books came *tumbling down* off the bookshelf.”

4. To be doing things in a hurried or rushed manner.

“We had sudden visitors, so I was *all over the place* getting tea and food ready for them.”

<中国語版>

1. 形容手・脚・翅膀等，反复地出声地快速运动的样子以及所发出的声音。

「乌鸦扑棱扑棱的呼扇着翅膀。」

「走廊里朋友们啪哒啪哒的跑步声越来越近。」

2. 形容被强风猛烈地扇动的样子及声音。

「强风把帐篷刮得呼呼作响。」

3. 形容东西连续下落或倾倒的样子。

「地震时，书架上的书啪啦啪啦地掉下来了。」

4. 形容慌乱地进行某事，慌忙不平静的样子。

「突然来了客人，又要沏茶又要准备做饭，弄得手忙脚乱的。」

<韓国朝鮮語版>

1. 손・발・날개등을 몇번이나 소리내어 빠르게 움직이는 모습이나 소리.

「까마귀가 날개를 푸드득 거리고 있다.」

「친구가 허둥지둥 복도를 달려 다가왔다.」

2. 물건이 강한 바람에 격렬하게 흔들리는 모습이나 소리.

「강풍으로 텐트가 펄럭펄럭 소리를 내고 있다.」

3. 물건이 계속해 떨어지거나 넘어지거나 하는 모습.

「지진으로 책장에서 책이 우당탕탕 떨어져 내렸다.」

4. 분주하게 일을 진행해 마음이 어수선한 모습.

「갑작스레 손님이 와서, 차와 식사 준비로 허둥지둥했다.」

<인도네시아語版>

1. Menggerakkan tangan, kaki, sayap dengan cepat dan mengeluarkan suara berkali-kali.

“Burung gagak mengepak-ngepakan sayap.”

“Teman saya berlari terhentak-hentak di koridor.”

2. Keadaan dan suara benda yang berkibar-kibar tertiup angin dengan kencang.

“Tenda mengeluarkan suara berkibas karena tertiup angin kencang.”

3. Keadaan suatu benda yang jatuh atau roboh.

“Buku berjatuhan dari rak buku karena guncangan gempa.”

4. Melakukan sesuatu dengan tergesa-gesa atau tidak tenang.

“Pekerjaan diselesaikan dengan tergesa-gesa, karena harus cepat-cepat pulang ke rumah.”

“Karena tamu datang dengan tiba-tiba, maka kami mempersiapkan minuman dan makanannya”

dengan tergesa-gesa.”

## 【びっくり】

<日本語版>

意外なことや突然なことに驚く様子。

「そのニュースを聞いて、みんなびっくりした。」

「授業中居眠りをしていたら、急に先生に名前を呼ばれたのでびっくりした。」

<英語版>

To be surprised by something unexpected or sudden.

“When they heard the news, everyone was *surprised*.”

“I was sleeping in class when the teacher suddenly called my name and *startled* me.”

<中国語版>

形容由于意外的事情或突然的事情，感到非常吃惊的样子。

「听到那个消息，大家都感到大吃一惊。」

「上课时正在打瞌睡，突然被老师点名，吓了我一大跳。」

<韓国朝鮮語版>

뜻밖의 일이나 돌발적인 일로 놀라는 모습.

「그 뉴스를 듣고 모두 깜짝 놀랐다.」

「수업중 졸고 있었는데, 갑자기 선생님이 이름을 불러서 깜짝 놀랐다.」

<インドネシア語版>

Suasana terkejut akan sesuatu yang di luar dugaan atau yang tiba-tiba.

“Semuanya terkejut karena mendengar berita itu.”

“Saya terkejut karena dipanggil secara tiba-tiba oleh Dosen, ketika saya sedang tertidur pada saat kuliah.”

## 5. 教材の使用と今後の課題

これまで本教材を実際の教育現場で使用し、学習者及び教師の評価から教材の効果を検証してきた。各授業での対象者（母語・日本語のレベル）や使用法はそれぞれ異なっており、まとまった教育効果の測定は今後の課題である。

むしろ、今回公開したのは教育素材に過ぎず、実際に利用するためにはカスタマイズが必要である。例えば、ビデオに関しては、文字なしのものを、音声だけを聞くグループと映像だけを見るグループに分けて提示し、インフォメーションギャップを故



意に作り、あとで議論して情報を総合する練習などが効果的であった。また、映像をもとに静止画を何枚か提示し、所謂「フォトランゲージ」として学習者間のコミュニケーションを図ったりする方法なども採用している。総じて、オノマトペの映像は学習者にとって興味深く、それをもとにしたコミュニケーション活動を促進しやすいと思われる。

今後、外部公開することを通じて、さまざまな教育現場での利用を促し、情報交換も進めて行きたい。

<著作権及び開発スタッフ（敬称略）>

制作・著作： 首都大学東京大学院 人文科学研究科日本語教育学教室  
"TMU mic-J"

監修：西郡 仁朗

校閲協力：浅川 哲也

原案・WEB設計：西郡 仁朗 王 莹

ビデオ・スクリプト：王 莹 刘 永亮 神谷英里 王 怡韡 徐 蝶菲 陳 穎  
白 桂栄 西郡 仁朗

英語版：岩崎 順子 ジェサ チャン シンシア プレンティス  
(オーストラリア, エディス・コーワン大学)

中国語版：王 莹

韓国語版：丁 美貞

インドネシア語版：アエプ サエフル バッフリ

ビデオ制作：(株) ジャパンライム

<参考とした辞書>

- ① 時枝 誠記, 吉田 精一・編(1982)「角川大國語辞典」(第二版) 角川書店
- ② 浅野鶴子・編『擬音語・擬態語辞典』(1978) 角川書店
- ③ 新村出・著, 編(2008)『広辞苑』(第六版) 岩波書店
- ④ 柴田 武, 倉持 保男, 山田 明雄, 酒井 憲二, 山田 忠雄・編(2004)『新明解国語辞典』(第六版) 三省堂
- ⑤ 松村明・編 (2006)『大辞林』(第三版) 三省堂
- ⑥ 小野正弘・編 (2007)『擬音語・擬態語 4500 日本語オノマトペ辞典』小学館

⑦ 小学館国語辞典編集部・編(2001)『日本国語大辞典』(第二版) 小学館

<参考文献>

泉邦寿(1976)「擬声語・擬態語の特質」『日本語講座 4 日本語の語彙と表現』大修館書店, pp. 106-151

王莹(2011)「日本語の擬音語・擬態語に対する感覚評価の対照研究—有声破裂音と無声破裂音の対立を中心に—」『第13回中国留日成果論文集』, pp. 9-16

王莹(2013)「日本語のオノマトペにおける音象徴の普遍性と個別性に関する研究—日本語母語話者と中国北京語話者との感覚評価の比較を中心に—」首都大学東京人文科学研究科・博士論文

金田一春彦(1978)「擬音語・擬態語概説」 浅野鶴子編『擬音語・擬態語辞典』東京:角川書店, pp. 3-25.

玉村文郎(1989)「特集・擬音語・擬態語—日本語の音象徴語の特徴とその教育」『日本語教育』68, 日本語教育学会, pp. 1-12.

Hamano, Shoko(1998). The Sound-symbolic System of Japanese. Tokyo: Kurosio Publishers.

三上京子(2007)「日本語教材とオノマトペ」『日本語学』明治書院, 26, No. 7, pp. 36-46